

FX NEWS PRESS

2023年
10月号

2023年10月3日発行
FXニュースプレス
(No.202)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel: 03-6861-8181

今月の注目通貨ペア (P10)

ユーロ米ドル

ECBによる利上げ打ち止め示唆を後目に
米長短金利がじわり上昇中！
このまま、約一年ぶりのパリティ(1ユーロ
=1ドル)を志向か？

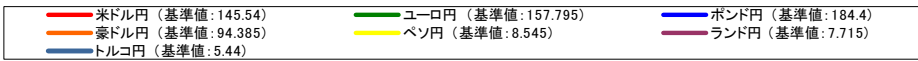
【セミナーのご案内】

- ▶ 10/28(土) 14:00～16:00 【横浜】
FX投資セミナーIN横浜(森永康平氏登壇)
～世界経済・為替の見通し～
- ▶ 12/2(土) 14:00～16:30 【名古屋】
エミン・ユルマスズ氏が為替相場を切る！
～世界経済・為替の見通し～
- ▶ 12/9(土) 13:30～16:00 【熊本】
エミン・ユルマスズ氏が為替相場を切る！
～世界経済・為替の見通し～

詳しくはホームページをご覧ください

AIゴールド証券 <https://www.aigold.co.jp>

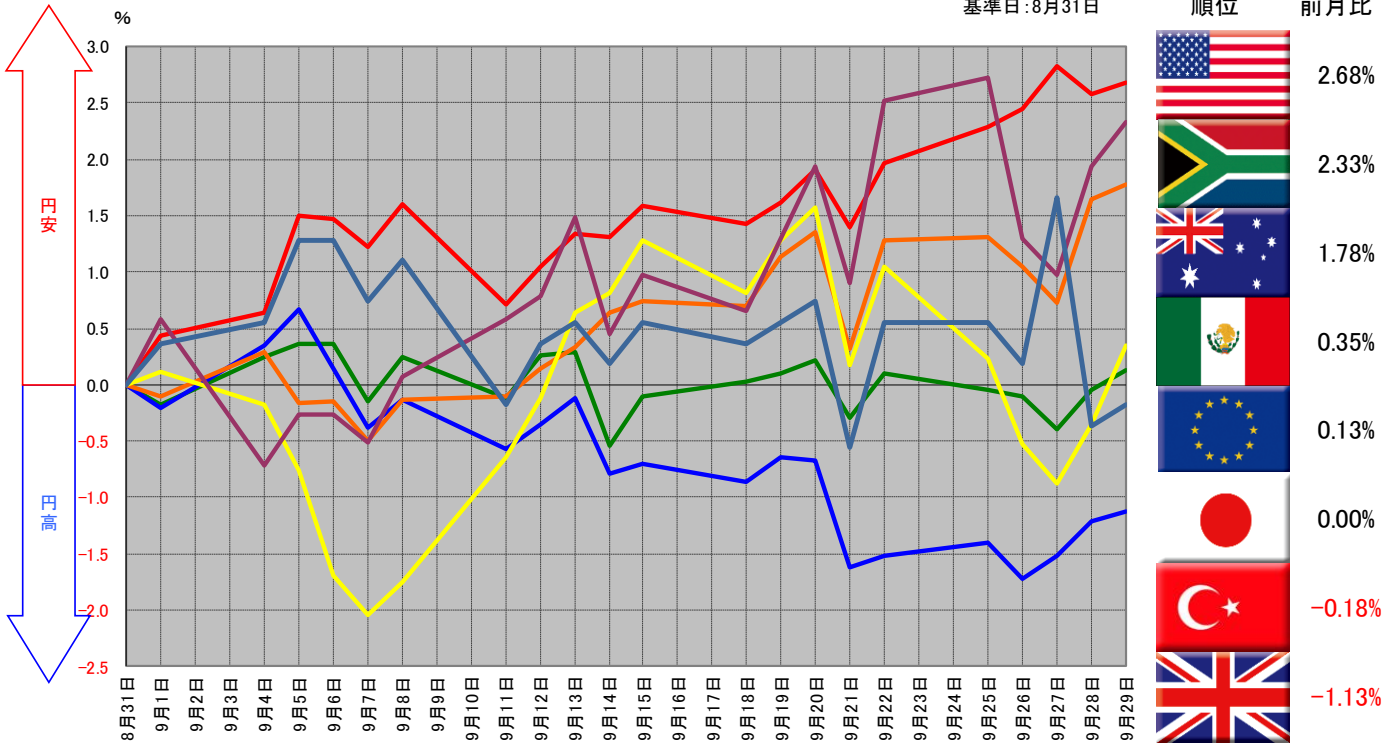
AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員



9月29日時点評価

基準日: 8月31日

順位 前月比



9月1日 米雇用統計

米労働省がこの日に発表した8月の非農業部門雇用者数は前月から18万7,000人増となった。就業者数が前月から22万2,000人増加し、失業者数が51万4,000人増加した結果、失業率は前月から0.3ポイント上昇して3.8%となった。市場予想は前月と同様の3.5%で予想を上回る内容。平均時給は33.82ドル(前月:33.74ドル)で、前月比0.2%増(前月:0.4%増)と、賃金の伸びは低下した。市場では、FRBに利上げを停止させるに十分など軟化していると同時に、景気後退を防ぐのには十分など堅調だ、との認識からリスク選好の流れの中でドル買いが先行。米ドル円は一時146.310に上昇する場面がみられた。

9月5日 安全資産としてドル買いが先行

この日はドルが主要通貨に対し上昇。中国財新サービス業PMIが弱い内容となったことに加え、豪中銀金融政策会合でRBAが政策金利据え置きを決定。その後、欧州や英国の非製造業PMIが景気判断分岐点の50を下回ったことなどから、ドル買い優勢の流れが鮮明となった。市場では、9月FOMCでの金利据え置きが予想されているが、金利は高止まりするとの見方が根強い。米ドル円は147円台後半に上昇した。

9月6日 米ドル円上昇受け口先介入か

この日も米ドル円が上昇し、約10か月ぶりの高値水準に到達。この流れを受け、神田真人財務官が、急激な為替変動が続いた場合は「あらゆる選択肢を排除せず、適切に対応する考えを表明した。当局筋の口先介入とも取れる動きに、米ドル円は147.000に下押す場面がみられた。

9月8日 米ドル円が振幅

約10か月ぶりの高値圏で米ドル円が振幅をみせた。この日は開議後記者会見で鈴木俊一財務相が円安が進行する為替相場について、「高い緊張感を持って注視し、過度な変動に対してはあらゆる選択肢を排除せず適切な対応をとりたい」と強調し、市場をけん制。さらに中国政府のiPhone使用制限報道などを受けた米中間関係の悪化懸念などを背景にドル売り円買いが強まる場面がみられた。一時146.580まで軟化。しかし欧米時間帯に移行すると、米長期金利の高止まり観測からドル買いが優勢となり、147円台半ばを回復した。

9月11日 植田日銀総裁発言受け円買い

前週末9日に読売新聞が報道した植田日銀総裁の単独インタビューを受け円買いが先行した。植田総裁はインタビューの中で、賃金上昇を伴う持続的な物価上昇に確信が持てた段階になれば、大規模な金融緩和策の柱である「マイナス金利政策」の解除を含め「いろいろな選択肢がある」旨を表明。現状は緩やかな金融環境を維持しつつも、年内にも判断できる材料が出そう可能性があることも示唆した。22日の日銀金融政策決定を前に、将来的なマイナス金利政策からの脱却観測への意識が高まったことで、円買いが優勢となった。ドル円は一時145.900をつけた。

9月13日 米CPI

米労働省がこの日発表した8月のCPIコア指数は前年比4.3%上昇と、伸びは7月の4.7%から鈍化し、2021年9月以来最小となった。CPIの内容を受け市場では、今月19~20日に開催されるFOMCで予想される金利据え置きの確率が高まったと判断。為替相場への影響も軽微にとどまった。

9月14日 ECBが予想外の利上げ

ECBは13~14日に開催していた理事会で政策金利を0.25%引き上げ主要政策金利を4.50%とすることを決定した。事前の予想では金利据え置きが優勢とみられていたものの、ECBがインフレ抑制姿勢を示す格好に。しかし、声明文では「政策金利が十分に長期間維持されれば、インフレ率が目標に適時に戻るのに十分資する水準に達したと考えている」として今回の利上げによる打ち止め感を示唆したため、市場はユーロ売りで反応。ユーロ円は一時156円台半ばへ軟化する場面がみられた。

9月20日 FOMCでは据え置きを決定

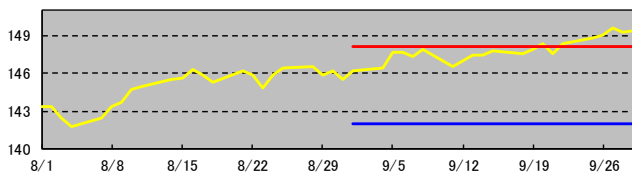
FRBは19~20日に開催していたFOMCで政策金利の据え置きを決定した。しかし、その一方で、来年に予想される利下げ幅を大幅縮小しておりその結果、来年の政策金利の見通しを大きく上方修正することとなった。パウエルFRB議長の記者会見でもインフレ率が目標値に達するまでの道のりは長いとの見方が示され、リスクオフの動きがみられた。

9月22日 日銀は大規模緩和を継続

日銀は21~22日に開催していた金融政策決定会合で大規模緩和の継続を決めた。インフレ退治のため金融引き締め長期化を示したFRBとは対照的。植田総裁は会合後の記者会見で、先に新聞報道されたインタビューで注目されたマイナス金利解除などについては、「現時点では経済物価を巡る不確実性は極めて高く、政策修正の時期や具体的な対応について到底決め打ちはできない」などと、ややトーンダウンした印象。これを受け市場は日本と欧米の金融政策の相違にあらためて注目する格好で円安が進行。米ドル円は148円台半ばに上昇した。

ドル円

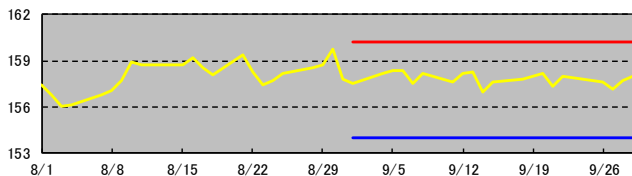
予想レンジ下限	予想レンジ上限
142.00	148.10



逆張り方針 評価【×】
 コメント
 予想レンジ上限を上抜いた。

ユーロ円

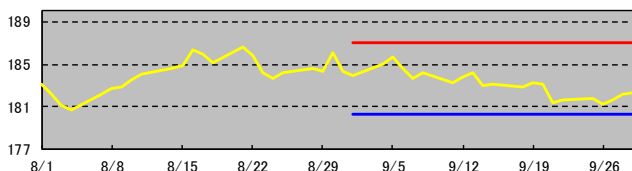
予想レンジ下限	予想レンジ上限
154.00	160.20



逆張り方針 評価【×】
 コメント
 予想レンジ内で推移したが下値は限られた。

ポンド円

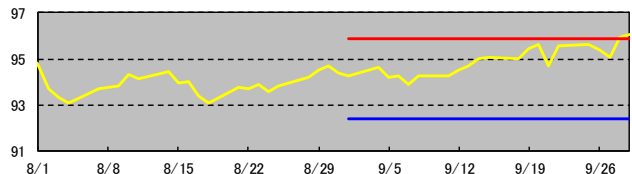
予想レンジ下限	予想レンジ上限
180.30	187.00



逆張り方針 評価【○】
 コメント
 予想レンジ内で推移した。

豪ドル円

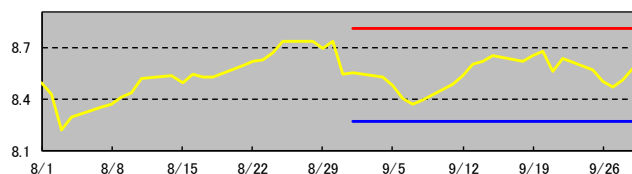
予想レンジ下限	予想レンジ上限
92.40	95.90



逆張り方針 評価【×】
 コメント
 予想レンジ内で推移したが、下値は限られた。

ペソ円

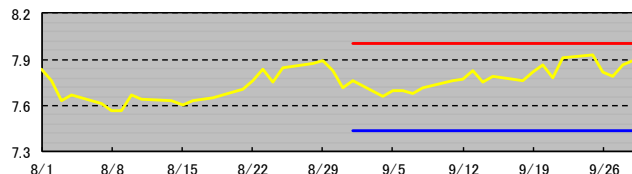
予想レンジ下限	予想レンジ上限
8.27	8.81



逆張り方針 評価【○】
 コメント
 予想レンジ内で推移した。

ランド円

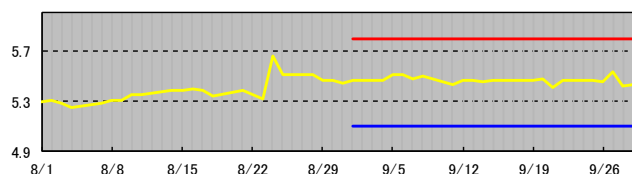
予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.44	8.00



逆張り方針 評価【○】
 コメント
 予想レンジ内で推移した。

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
5.10	5.80



逆張り方針 評価【×】
 コメント
 予想レンジ内で推移したが、上値、下値とも限られた。

米ドル/円 【逆張り方針】

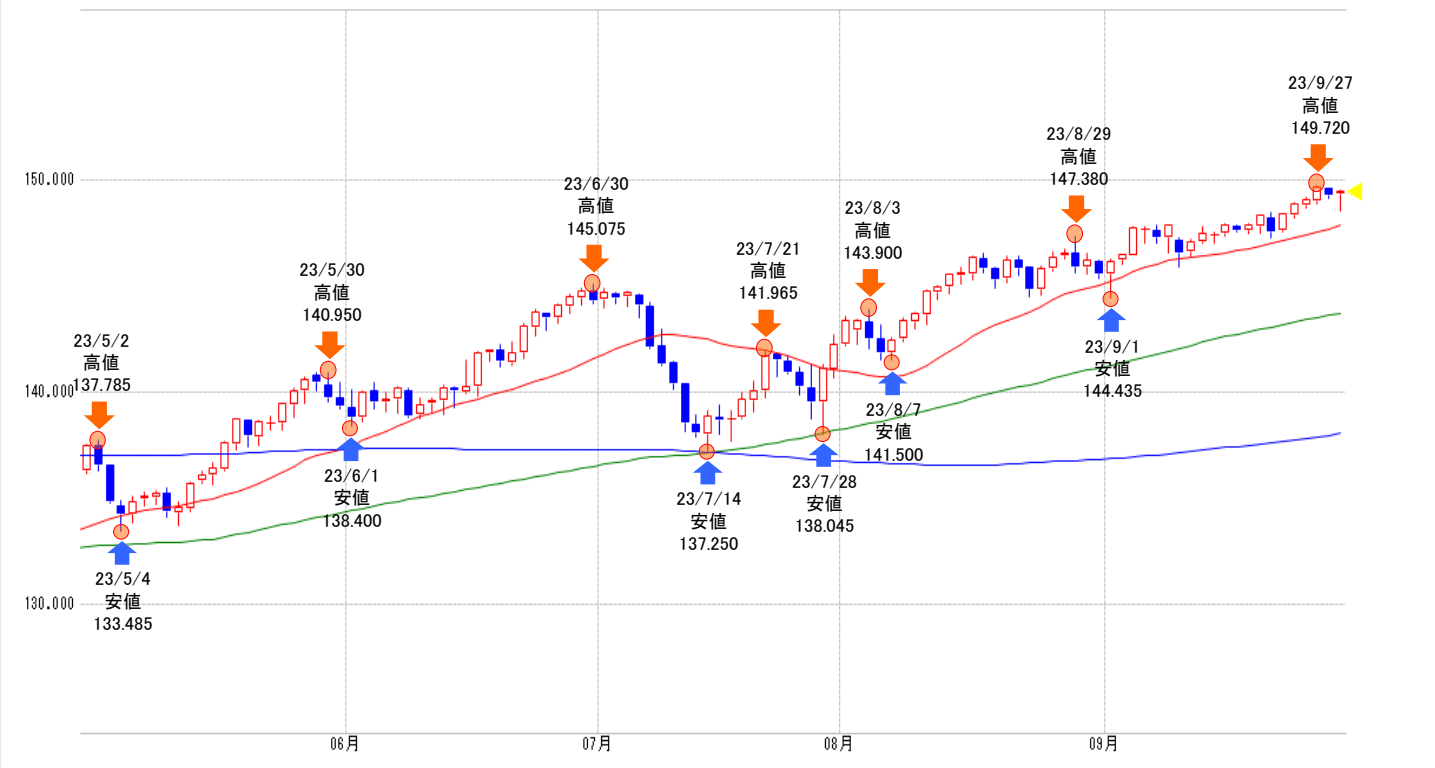
予想レンジ
 ↑ 152.50円
 ↓ 146.40円



2023年5月1日～2023年9月29日

米ドル/円 【日足】

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。9月の値動きから導き出した計算値(152.49)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、9/12安値(146.43)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(146.40)を下抜けた場合。この場合は9/1安値(144.43)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/2 21:30	9月製造業PMI		48.9	★★
10/2 23:00	9月ISM製造業景気指数		47.6	★★★
10/4 23:00	9月ISM非製造業景気指数		54.5	★★★
10/4 23:00	8月耐久財受注(前月比)		0.2%	★★
10/5 21:30	8月貿易収支		-650億USD	★★
10/6 21:30	9月非農業部門雇用者数		18.7万人	★★★
10/12 3:00	FOMC議事録			★★
10/12 21:30	9月消費者物価指数(コア)(前年比)		4.3%	★★★
10/17 21:30	9月小売売上高(前月比)		0.6%	★★★
10/24 22:45	10月製造業PMI		48.9	★★

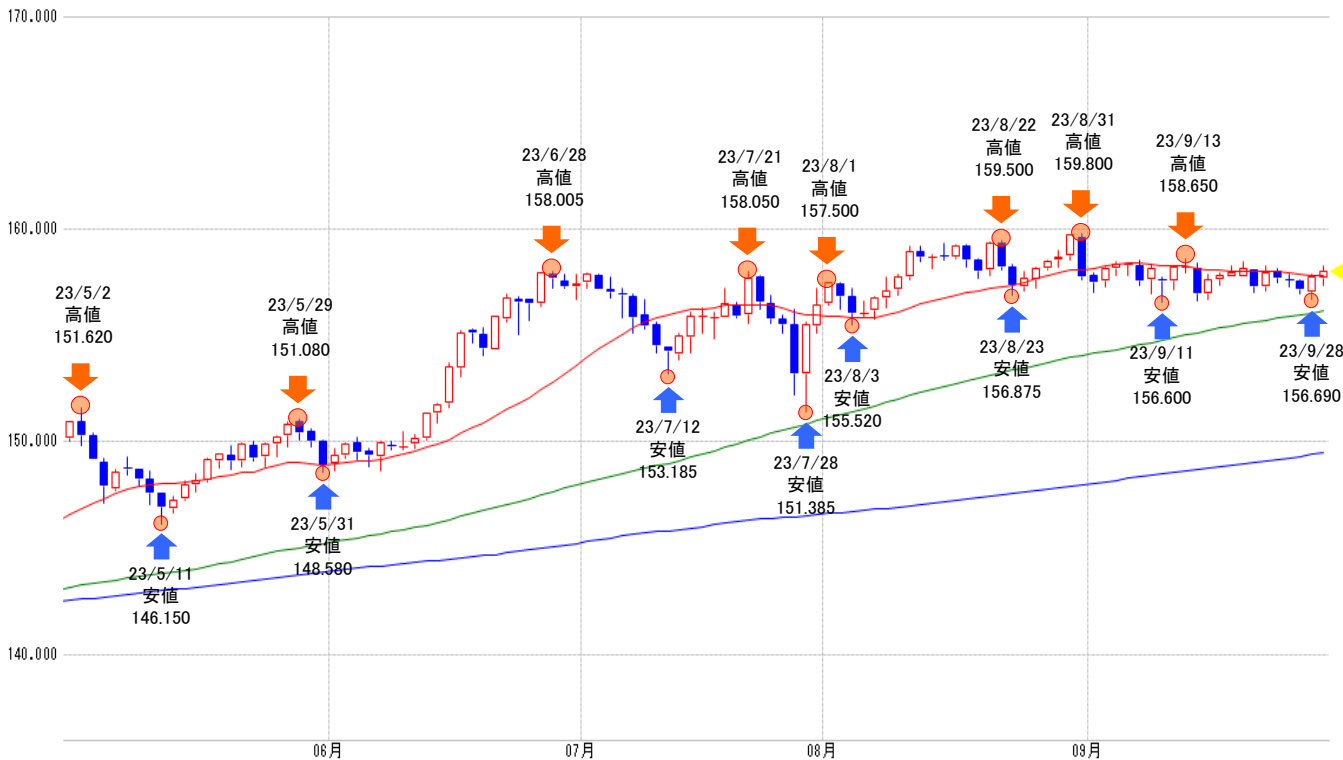
〈相場の格言〉大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠くものである。)



2023年5月1日～2023年9月29日

ユーロ/円 [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、9/11安値(156.60)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日・200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きが予想されます。9月の値動きから導き出した計算値(158.89)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7/28安値からの上昇に対する3分の2押し(154.60)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(154.60)を下抜けた場合。この場合は節目153円を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/2 17:00	9月製造業PMI		43.4	★★
10/2 18:00	8月失業率		6.4%	★★
10/4 17:00	9月サービス業PMI		48.4	★★
10/13 18:00	8月鉱工業生産指数(前年比)		-2.2%	★★
10/17 18:00	10月ZEW景況感指数		-8.9	★★
10/19 17:00	8月経常収支(季調済)		209.0億EUR	★★
10/24 17:00	10月製造業PMI		43.4	★★
10/26 21:15	ECB政策金利		4.50%	★★★
10/31 19:00	第3四半期GDP(前年比)		0.5%	★★★★
10/31 19:00	10月消費者物価指数(コア)(前年比)			★★★★

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

ポンド/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 184.10円
 ↓ 178.30円



2023年5月1日～2023年9月29日

ポンド/円 [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ **70%**

実線は、9/21安値(180.85)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日・200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きが予想されます。9/14高値(184.10)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、9月の値動きから導き出した計算値(178.35)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ **30%**

予想レンジの下限(178.30)を下抜けた場合。この場合は7/28安値(176.31)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/2 15:00	9月ネーションワイド住宅価格指数(前年比)		-5.3%	★★
10/2 17:30	9月製造業PMI		44.2	★★
10/4 17:30	9月非製造業PMI		47.2	★★
10/5 17:30	9月建設業PMI		50.8	★★
10/12 15:00	8月鉱工業生産指数(前年比)		0.4%	★★
10/12 15:00	8月製造業生産高(前年比)		3.0%	★★
10/17 15:00	8月ILO失業率		4.3%	★★
10/18 15:00	9月消費者物価指数(前年比)		6.7%	★★★
10/18 15:00	9月小売売上高(前月比)		0.4%	★★
10/20 8:01	10月GfK消費者信頼感調査		-21.0	★★

〈相場の格言〉群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。9月の値動きから導き出した計算値(96.80)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、8/18安値(92.78)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(92.70)を下抜けた場合。この場合は6/2安値(91.18)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/3 9:30	8月住宅建設許可(前月比)		-8.1%	★★
10/3 12:30	豪中銀政策金利		4.10%	★★★
10/5 9:30	8月貿易収支		80.39億AUD	★★
10/10 9:30	10月Westpac消費者信頼感指数(前月比)		-1.5%	★★
10/18 8:30	10月Westpac先行指数(前月比)		-0.04%	★★
10/19 9:30	9月雇用者数(前月比)		6.49万人	★★
10/19 9:30	9月失業率		3.70%	★★
10/25 9:30	第3四半期消費者物価指数(前年比)		6.0%	★★
10/25 9:30	第3四半期生産者物価指数(前年比)		3.90%	★★
10/30 9:30	9月小売売上高(前月比)			★★

メキシコペソ/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 8.680円

↓ 8.270円



2023年5月1日～2023年9月29日
メキシコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、中期のトレンドを示す89日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日・200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きが予想されます。9月の値動きから導き出した計算値(8.680)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、8/8安値(8.275)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(8.270)を下抜けた場合。この場合は7/13安値(8.135)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/9 21:00	9月消費者物価指数(前月比)		0.55%	★★
10/9 21:00	9月消費者物価指数(前年比)		4.64%	★★
10/12 21:00	8月鉱工業生産指数(前月比)		0.5%	★★
10/12 21:00	8月鉱工業生産指数(前年比)		4.8%	★★
10/26 21:00	9月失業率		2.96%	★★
10/27 21:00	9月貿易収支		-13.771億USD	★★
10/31 21:00	3四半期実質GDP(前期比)		0.80%	★★
10/31 21:00	3四半期実質GDP(前年比)		3.60%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

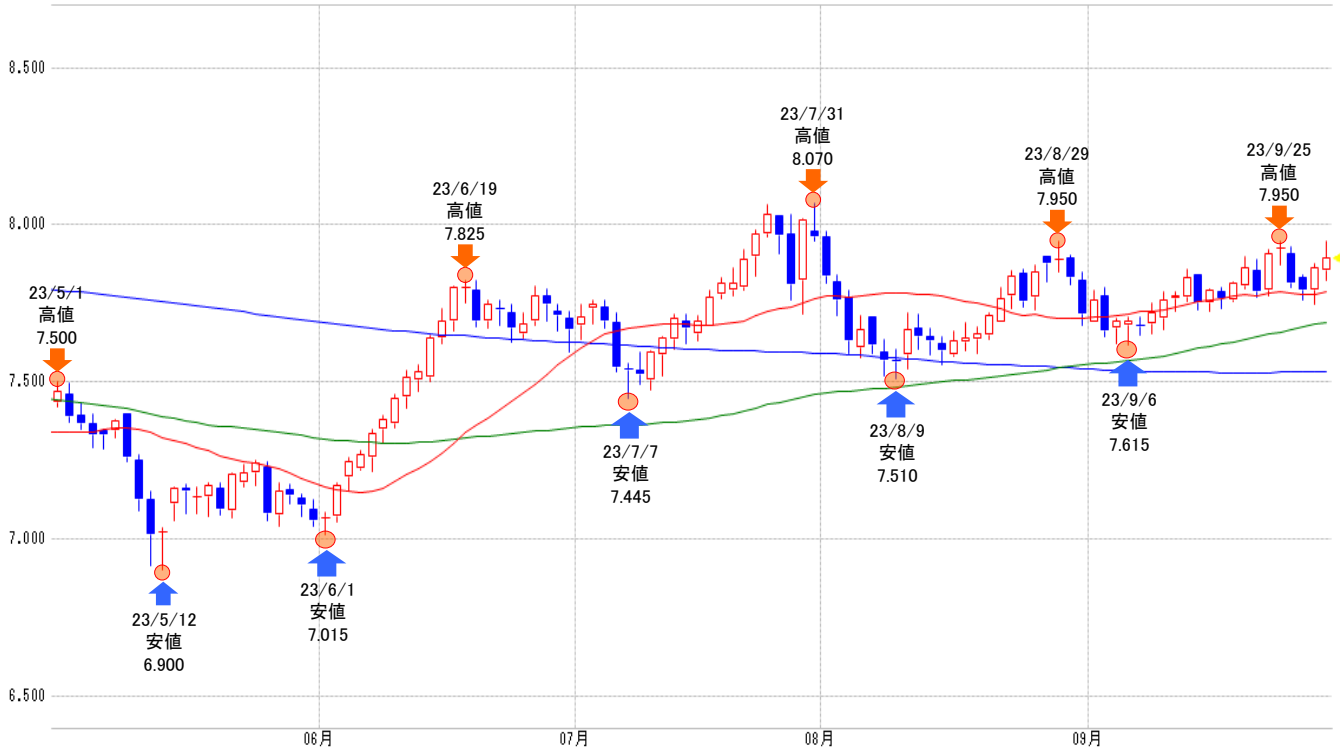
ランド/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 7.950円
 ↓ 7.550円



2023年5月1日～2023年9月29日
 ランド/円 [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日・89日移動平均線は上昇、200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きが予想されます。9月の値動きから導き出した計算値(7.945)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、8/15安値(7.555)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(7.550)を下抜けた場合。この場合は7/7安値(7.445)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
10/6 21:30	カナダ	9月失業率		5.6%	★★
10/17 21:30	カナダ	9月消費者物価指数(前年比)		4.00%	★★
10/20 8:30	日本	9月消費者物価指数(前年比)		3.20%	★★
10/25 17:00	南アフリカ	9月消費者物価指数(前年比)		4.8%	★★
10/25 23:00	カナダ	カナダ中銀政策金利		5.0%	★★★
10/26 18:30	南アフリカ	9月生産者物価指数(前年比)		3.30%	★★
10/31 8:30	日本	9月完全失業率		2.70%	★★
10/31時間未定	日本	日銀政策金利		-0.10%	★★★
10/31 21:30	カナダ	8月実質GDP(前年比)		1.10%	★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)



2023年5月1日～2023年9月29日

トルコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、中期のトレンドを示す89日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。9月の値動きから導き出した計算値(5.69)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、8/4安値(5.11)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(5.10)を下抜けた場合。この場合は7/18安値(4.94)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/2 16:00	9月製造業PMI		49.0	★★
10/3 16:00	9月消費者物価指数(前年比)		58.94%	★★
10/3 16:00	9月生産者物価指数(前年比)		49.41%	★★
10/10 16:00	8月失業率		9.4%	★★
10/10 16:00	8月鉱工業生産指数(前年比)		7.4%	★★
10/11 16:00	7月経常収支		-54.7億USD	★★
10/23 16:00	10月消費者信頼感指数		71.5	★★
10/25 16:00	10月設備稼働率		77.3%	★★★
10/26 20:00	トルコ中銀政策金利		30.0%	★★
10/31 16:00	9月貿易収支		-86.6億USD	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすペリの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ユーロ/米ドル 【逆張り方針】

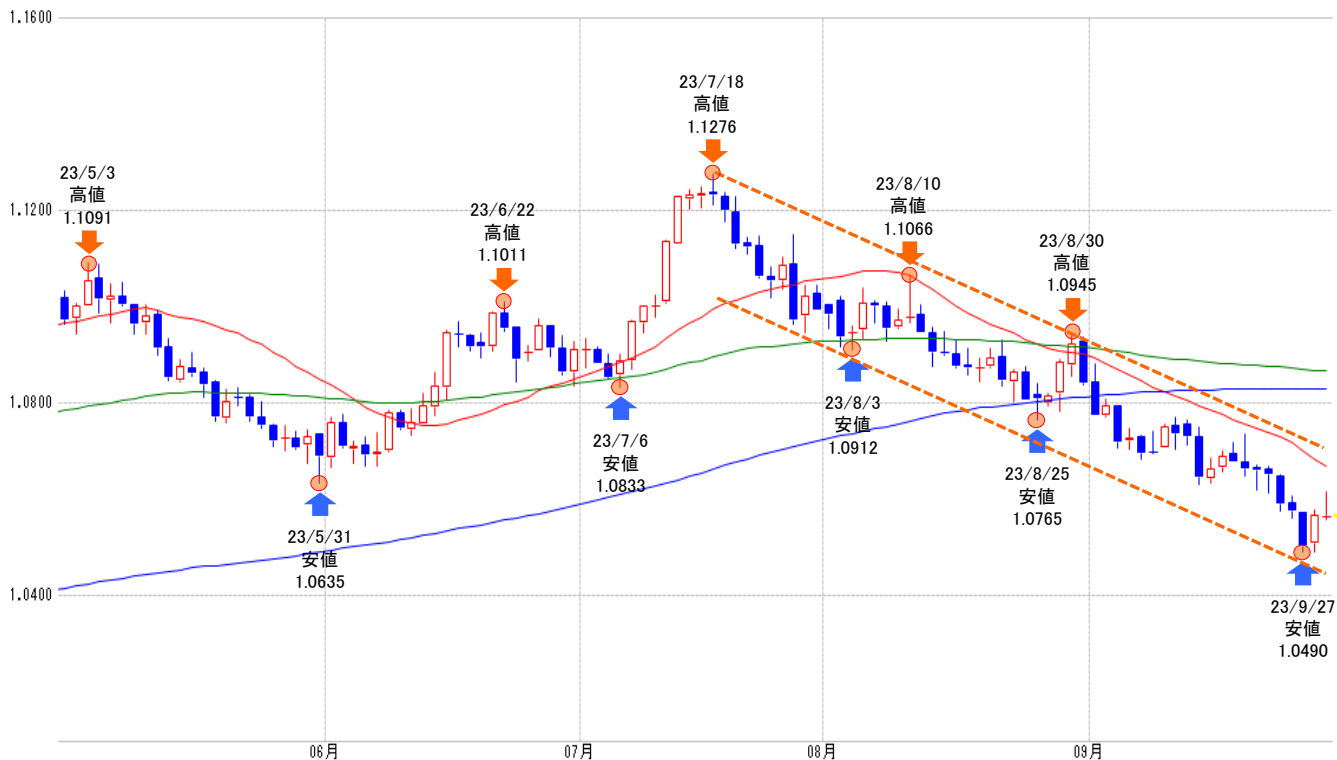
予想レンジ ↑ 1.0700
↓ 1.0290



2023年5月1日～2023年9月29日

ユーロ/米ドル [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、7/18高値(1.1276)と8/30高値(1.0945)を結んだ延長線と、これに平行して引いた線で形成されたチャネルラインの間で価格が推移しています。21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。9月の値動きから導き出した計算値(1.0697)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、11/30安値(1.0290)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(1.0290)を下抜けた場合。この場合は11/11安値(1.0167)を試す展開が考えられます。

② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	メキシコ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
22年	10月	4,068円	1,106円	2,892円	2,007円	5,604円	3,857円	1,006円	-19.88ドル
	11月	4,890円	1,990円	4,143円	2,261円	5,935円	4,292円	642円	-22.65ドル
	12月	5,509円	2,376円	4,663円	2,203円	6,191円	4,244円	531円	-26.81ドル
23年	1月	4,903円	2,531円	4,606円	2,245円	5,283円	3,858円	531円	-21.63ドル
	2月	5,009円	2,873円	4,989円	2,420円	5,747円	1,407円	532円	-19.32ドル
	3月	6,264円	3,938円	6,174円	2,907円	7,471円	4,702円	973円	-21.49ドル
	4月	6,423円	4,275円	6,689円	2,937円	8,318円	5,099円	1,402円	-12.59ドル
	5月	5,735円	3,917円	5,939円	2,651円	7,522円	4,205円	1,882円	-20.78ドル
	6月	6,283円	4,490円	7,280円	3,517円	7,852円	5,096円	1,604円	-16.96ドル
	7月	6,105円	4,608円	7,562円	3,298円	7,132円	4,949円	597円	-15.84ドル
	8月	7,509円	5,800円	9,292円	3,639円	8,869円	5,801円	1,090円	-16.84ドル
	9月	7,092円	5,534円	8,652円	3,509円	7,295円	5,190円	866円	-14.08ドル
	計	69,790円	43,438円	72,881円	33,594円	83,219円	52,700円	11,656円	-228.87ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)

【各国基礎データ】

日本 米国 ユーロ 英国 豪州 NZ カナダ 南ア トルコ メキシコ

政策金利	2023年4月	-0.10	5.25	3.50	4.25	3.60	5.25	4.50	7.75	8.50	11.25
	2023年5月	-0.10	5.25	3.75	4.50	3.85	5.50	4.50	8.25	8.50	11.25
	2023年6月	-0.10	5.25	4.00	5.00	4.10	5.50	4.75	8.25	15.00	11.25
	2023年7月	-0.10	5.50	4.25	5.00	4.10	5.50	5.00	8.25	17.50	11.25
	2023年8月	-0.10	5.50	4.25	5.25	4.10	5.50	5.00	8.25	25.00	11.25
	2023年9月	-0.10	5.50	4.50	5.25	4.10	5.50	5.00	8.25	30.00	11.25

失業率	2023年3月	2.8	3.5	6.5	3.9	3.5	3.4	5.0	32.9	10.1	2.4
	2023年4月	2.6	3.4	6.5	3.8	3.7	3.4	5.0	32.9	10.2	2.8
	2023年5月	2.6	3.7	6.5	4.0	3.6	3.4	5.2	32.9	9.5	3.0
	2023年6月	2.5	3.6	6.4	4.2	3.5	3.6	5.4	32.6	9.6	2.7
	2023年7月	2.7	3.5	6.4	4.3	3.7	-	5.5	-	-	2.9
	2023年8月	2.7	3.8	-	-	3.7	-	5.5	-	-	2.9

GDP	2021年 4Q	1.2	7.0	4.7	6.6	4.6	6.0	1.7	1.7	9.6	1.2
	2022年 1Q	-0.7	-1.5	5.4	8.7	3.1	5.2	0.6	2.7	7.6	1.0
	2022年 2Q	1.4	-0.6	4.2	4.4	3.1	1.2	0.9	0.2	7.8	1.1
	2022年 3Q	-0.4	2.9	2.3	1.9	6.0	2.9	0.6	4.2	4.0	0.9
	2022年 4Q	0.1	2.7	1.8	0.6	2.6	2.7	0.0	0.8	3.5	0.5
	2023年 1Q	0.7	-	1.0	0.2	2.3	2.9	0.8	0.2	4.0	1.0

10年国債	2023年4月	0.398	3.464	2.320	3.717	3.386	4.110	2.840	10.180	12.60	8.779
	2023年5月	0.406	3.637	2.279	4.179	3.604	4.333	3.186	11.300	10.23	8.794
	2023年6月	0.396	3.819	2.394	4.387	3.983	4.654	3.271	10.510	16.34	8.774
	2023年7月	0.604	3.957	2.467	4.312	4.058	4.726	3.502	10.215	18.41	8.868
	2023年8月	0.651	4.091	2.471	4.361	4.044	4.900	3.565	10.275	18.45	9.684
	2023年9月	0.771	4.571	2.842	4.442	4.490	5.340	4.032	10.810	25.52	10.309

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:1枚あたり片道220円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり2,280円～73,390円(2023年10月2日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員